



取締役頭取

金城棟啓

## GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2013年度中間ディスクロージャー誌)を作成しました。

平成25年度上半期の国内経済は、アベノミクスによる金融政策および経済対策の効果などにより、企業業績が大企業を中心に改善し、設備投資についても非製造業を中心に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復の動きがみられました。

沖縄県経済は、繁忙期の入域観光客数が過去最高を更新し、消費増税前の駆け込みにより住宅建設が高水準で推移するなど、観光関連、建設関連、消費関連がいずれも堅調に推移し、労働・賃金環境も改善したことから、拡大を続けました。

当行においては、「現状を突破するための新たなビジネスモデルの確立」を経営目標とする中期経営計画「Break Through 2012」の2年目となる今年度は、「選ばれる銀行へのさらなる加速」をテーマに、コンサルティング機能を発揮した成長分野への支援拡大による法人取引の強化、チャネルや商品ラインナップの充実による個人取引の強化などに取り組みました。

当行はこれからも、コンプライアンス(法令等遵守)を全ての業務の基礎に据えつつ、常にお客様の立場になって考え、行動することでお客様から高い信頼と支持をいただける「選ばれる銀行」を実現し、地域経済の発展に貢献してまいります。

平成26年1月